

【レビ記 12 章】「祭司はこれを主の前にささげ、彼女のために贖いをしなさい。彼女は  
その出血からきよめられる。～」(7 節)

熊本地震が早く終わりますように！私達の教会からも皆様の支援金を送りしました。感謝！  
更にお祈りください。パウロ秋元牧師の書かれた“せかいのおわり”に書かれてあるように地震  
や、世の終わりの兆候が非常に現れてきています。み声新聞「終わりの時代に向かって」等に  
も、如何にこの世が終わりの時に近づいているかがお分かりになると思います。

今日は「母の日」ですね。丁度婦人の出産に関する規定が書かれてあります。子を産むこと  
は素晴らしい祝福ですが、出産は罪びとを生み出すのです。(詩篇 51 : 5) 7 節“祭司”とあり  
ますが、今でいえばイエス・キリストを信じている私たちクリスチャンのことです。“あがない”  
というのは、辞書では、金品を持って罪を償うことを言います。罪を犯した時に金品を差し出  
して、その罪を赦しきよめられることを言っています。出産の為に流した出血のけがれを清め  
るために、旧約時代は羊や山鳩などが捧げられました。今は救い主としてイエス・キリストが  
来てくださったので、動物を犠牲としてささげる必要はありません。罪を悔い改め、イエス・  
キリストを救い主と信じれば罪が赦されきよめられます。(聖餐式が重要！) 祭司が贖いをす  
るというのはこの救い、イエス・キリストを伝える事をさしています。主が再び来られる再臨  
の時が近づいています。もし人がイエス・キリストのもとに来なければ、人間には原罪がある  
ので「必ず死ぬ。」(創世記 2 : 17)すなわち最終的な裁きにあうのです。先に選ばれた私たち  
は、あらゆるチャンスを用いてこの救いを家族親族、友人知人に知らせましょう。

ゴールデンウィークに、さまざまの方法でそれぞれ伝道がなされました。九州では熊本地震  
の被害を受けている方々を含めて J ゴスペルの賛美大会があり非常に感動を覚えました。東京  
では、井の頭公園野外ステージで 20 組の方々が 6 時間入れ代わり立ち代わりゴスペルを捧げ  
られ、多くの方々が福音に触れました。ハレルヤ！私たちもまた、それぞれの伝道が成された  
様子をお聞きました。その証をしていただき、神様に栄光をお返ししましょう。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる  
者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ 3 : 16 「罪  
から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠  
のいのちです。」ローマ 6 : 23



Siloam

2016 年 5 月 8 日 No.892

(シロアム: 遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

ルカの福音書 3:2~4

「神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」 2 節

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」 4 節



主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>